

会議の名称	議会改革特別委員会	開催月日・令和5年8月28日 開会時間・午前・午後1時30分 閉会時間・午前・午後2時08分
出席者	南谷 清司 後藤 國弘 安藤 誠 佐藤 健 川柳 雅裕 花村 隆	
欠席者		
オブザーバー	議長 藤川 貴雄 副議長 安井 智子	
傍聴者		
説明のために出席した者	堀議会事務局長 藤井議会総務課長 大下議会総務課課長補佐 中村議会総務課主任	
協議事項	○ 委員会活動の活性化について	

【開会=午後1時30分】

南谷清司委員長

ただいまから議会改革特別委員会を開会いたします。

前回7月27日ですが、協議においてご意見のありました協議スケジュール、今後何を検討事項にして、どんなスケジュールで協議をしていくかということについて、私の委員長案をお配りさせていただきました。見ていただいて、ご意見等をいただければと思います。この中で④グリーン車の利用というお話がありました。羽島市の旅費規定ではグリーン車の利用は原則的に認められていません。市議会議員の場合はおそらく部長級対応でいくんだろと思いますが、部長級にグリーン車の利用はありません。市長が特に認めた場合、大体とても偉い人の随行で行くので仕方なくグリーン車に乗るとかですね、そういう場合が想定されるんですけど、その場合だけですので、ちょっとその辺はお含みおきください。

あと、選挙公報のあり方について、委員の方からご指摘がありました。検討したんですけど、議会改革特別委員会はやはり議会の事務、議会の権限で行う事柄について検討すると、選挙公報については選挙管理委員会の所管、選挙管理委員会の権限で行われていることですので、議会改革特別委員会で審議するのはちょっとふさわしくないかなということ。あえて言えばですね、常任委員会のどこかで、市の一般事務の審議として取り扱っていくというようなことではないかなと思っておりまして、そういう意味で外させていただいております。それで、残ったのが8つということで、現時点では①がほぼ終わっておりまして、議運へ申し送る。今日は②について検討いただこうかなと思っております。それでは、この検討事項及びスケジュールについて、ご意見がありましたらご発言をお願いします。

花村委員

議長指示事項と④の中で、議員バッジ支給廃止とあります。議員手帳を希望者にだけ配布するという関係についても、ちょっとお話しした方がいいんじゃないかなというふうに意見を申し上げます。

南谷清司委員長

議員手帳というのは、発行者は全国の議長会か何かですかね。多分その収入になって、ある程度の期待感が各議会に来ているのかどうかということにはちょっと思ったりもしますが、その辺はどんな感じですか。

議会総務課課長 補佐	議員バッジ、議員章、今の議員手帳も含めまして、市議会議長会が作成したものを購入しているという形に現在はなっています。
南谷清司委員長	議員手帳の購入をやめても、羽島市議会としてお困りになるようなことは、事務局としてはいかなるものでしょうか、という質問ですが、事務局お願いします。
議会総務課課長 補佐	1点だけ、議員手帳を見ていただきますと、最後のページに証明欄というのがあります。この部分が、皆さんが市議会議員であるということをどこかで示さなければならぬときに、これを示して、私は市議会議員ですというところの部分だけが、手帳をなくした場合どのように、我々でいう職員証みたいな機能をどこで持たせるかというところはあるかと思いますが、それ以外の部分に関しては特段、通常の手帳と同じですので、問題ないかと思えます。
南谷清司委員長	わかりました。いわゆる身分証明書の役割も兼ねていますということですけど、羽島市の職員さんの身分証明書はどういう形のものを使ってみえるのか。
議会総務課課長 補佐	カード形式になっておりますので、かなり古いものですけど。
南谷清司委員長	一般的なものですね、紙のカードに顔写真入れて、ハンコを押してパウチしてあると、それと同じようなものを羽島市議会議員についても、議長の証明で作ればよいという、そういうことなんでしょうね。それだけ事務局の手間が増えるということにもなりますが、現状はそんなようなところでございます。しかし、議論のテーマに挙げることは問題はないですよ。それでは、これも議論のテーマの④の中の一つに、議員手帳の扱いというようなことを入れさせてもらってもよろしいですか。
佐藤委員	ちょっと伺いたいことが、その議員手帳に費用がかかっているのかどうか、市として費用がかかっているのかということをお伺いしたいです。
南谷清司委員長	議員手帳の購入代はいくらですか。

議会総務課課長 補佐	確かに1冊当たりの費用がかかっております。
南谷清司委員長	こういうのが全国市議会議長会の貴重な収入だと思います。
川柳委員	<p>今日参加させていただきまして、このグリーン車利用及び海外視察の廃止というようなことを改めて申し合わせるわけですけど、実際、北海道とか沖縄とか離島へは行けないような状況になっていると思うんですけど、今日午前中ある会議で、ある委員さんの言葉にすごく私、感銘を受けたんですけど、今後、羽島市議会としてもハラスメントを根絶していくというお話があったんですが、ちょっとハラスメントという言葉を使うといけないんですけど、沖縄とか北海道の人たちから言わせると、なんで来てくれないんだとかというのは、逆にハラスメントに近いような気がするんですけど、だから、予算の問題なのか飛行機の問題なのか時間の問題なのかわからないですけど、やはり沖縄とか北海道へも行く必要があれば行けるような窓口というか、そういう手続きができるようにしておいた方がいいかなというふうに私は思うので、ご意見申し上げます。</p>
南谷清司委員長	<p>沖縄、北海道ですね、沖縄、北海道を視察の対象にすることの是非なり、運用基準なりということですけど、離島も含めて全国各地どこでもという、これも検討課題にするかどうかだけですので、今ここで結論を出すわけではありませんので、検討課題にさせてもらうということによろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
南谷清司委員長	それでは、それも含めてお願いをします。全国各地ですね。それ以外には。
川柳委員	<p>今回9月議会にも上程されている議案の中に、職員駐車場のいわゆる料金の徴収ということが少し議題に入っているんですけど、それを聞いて、私もちょっと今まで無知だったんですけど、同じ例えば職員さん中の非常勤の方もそれが適用されているのかどうかわかりませんが、だとすれば、羽島市役所で働いている人に対して駐車料金が発生するのであれば、私達もよく考えれば議員も駐車場代払っ</p>

南谷清司委員長	<p>でもいいんじゃないかなと私はちょっと思ったんですけど、そんなようなことをちょっと、私も支払えと言われれば払いたいのので、ご意見申し上げます。</p>
南谷清司委員長	<p>ちょっとその条例を見てないんですけど、羽島市の職員は駐車場代払っていますよね。それに対して、今度は会計年度職員の短時間勤務の人も、時間に合わせて払うと。</p> <p>(「非正規の人も払っとるのに、議員は払わなくていいのかということ」と呼ぶものあり)</p>
佐藤委員	<p>私達の払う金額をどれだけにするかというのはなかなか微妙な話なんですけど、議論するのはやぶさかではないんですけど、なかなか根拠を持って議論するのはなかなか難しそうな話なんですけど、どうします皆さん、議論するのは別に議論するだけなんですけど。</p>
議会総務課課長 補佐	<p>ちょっと気になったんですけど、駐輪場は有料なんですか、職員の方は。</p>
南谷清司委員長	<p>駐輪場に関しては、料金はかかっていないです。</p>
花村委員	<p>公立学校の教員、羽島市立の小学校中学校の教員はかかりませんよね。市の学童教室とか、市が設置して市が運営しているところの職員は払っていると思うんですけど、県負担職員の場合は払ってないと思うんです。それは別の話ですけど。</p>
南谷清司委員長	<p>非正規の方も月に何日以上来たら2000円払うとか、月に1日か2日だったら1日100円とか、そういう規定がちょっとあったかもしれんので、その辺確認してもらって、そういった規定を議員にも適用するかどうかについて、こちらの方で検討してはどうか。</p>
南谷清司委員長	<p>申し訳ありませんけど、今議会の議案で出ているんですよ。</p> <p>(「関係ない、徴収方法だけ」と呼ぶものあり)</p>
南谷清司委員長	<p>そうすると、今のままのことがそのまま踏襲されている</p>

	<p>わけだよね。検討をした方が皆さんよろしいですか。議題として、額は少ないでしょうけれど、なかなか市の収入として上げていくとなると、それなりに予算措置もいるし、新年度に項目立てて、どういうルールでどうやってやるかという、収入になりますからね。結構面倒くさい話には市の方としてはなると思いますがけれど。</p>
<p>後藤國弘委員</p>	<p>非常勤というか、ラーニングサポーターの方たちは月に4日だったか5日だったか、そのくらいのときは徴収しないような形で、あとは月いくらという感じで徴収しているみたいなので、議会の場合だとどういうルールが適用できるかちょっとよくわからないですけど、例えばどうしても出てくるといふ、委員会や議会がある場合は月に何日かあるからいくらというような徴収方法とか、いろいろ考えられるので、ちょっと現状を1回調べていただいて、出していただくという方向性で。</p>
<p>南谷清司委員長</p>	<p>調べてもらうというと検討するということになるんですけど。</p>
<p>後藤國弘委員</p>	<p>どうですかね、議会改革で検討か。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>疑問点としては、市長さん、二元代表制ということがあると思いますので、市長さんがどういうふうになっているかというのをちょっと教えていただきたいなと思います。</p>
<p>南谷清司委員長</p>	<p>市長さんというのは、市長の駐車場代ということですか。市長は全部公用車ですから、自分の車で駐車する必要はないので、多分払ってないでしょう。</p> <p>調査するとなると、検討しないと申し訳ないですから、検討しないなら調査しても仕方ないですし。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>議員払うどうこうの前に、市の職員の方が飛び地というか、離れたところにもとめてみえますよね。それとここの敷地内とかの料金の差というのはあるんですか。</p>
<p>南谷清司委員長</p>	<p>市の職員の運用は運用として、私達議員がどうするかですけれど、議論しますか、ちょっと首をかしげるんですけど。</p>
<p>後藤國弘委員</p>	<p>直接的には議会改革とあまり関係ない話なので、議会改</p>

南谷清司委員長	<p>革でやらずに、議運とか、全協とか、そういうところで話し合っ、皆さんの意見聞いて払ったほうがいいという、議会改革とはちょっとずれているような気がする、議会改革ではやらなくてもいいんじゃないかなと思います。</p> <p>何か議会改革で議論をするという、あんまりそんな感じはしないんです。手続きは結構面倒くさいと思います。どうですか皆さん、テーマにするかしないかですが。</p>
川柳委員	<p>私は先進事例になると思うんですね、きっと議員は特権みたいなものがある、例えば県議会であればお客さん、来庁者よりも近くにとめさせてもらっているとかあるんですけど、ただ、私達も以前航空マップをいただいたとき、議員はここにとめるようにという指示があったんですね。あれは来庁者の方がとめるところにあえて議員さん方にとめてくださいという話があって、あのときにちょっとふと思ったんですけども、私達は優遇されているんだなと思った中で、職員さんが払っているのであれば、私達も同じ職場で働いているわけだから払うべきじゃないかなと私は思った次第で、もしこれが通った羽島市議会は自ら身を切っ、て駐車料金を払っていますよ、市の財政に少しでも貢献していますよというふうになれば、私は良いニュースになるかなと思ったんですけど、そのニュース目当ての話ではないんですけど、ただ私達はどういう立場にあって、どういうふうに使わせてもらえばいいのかということのを改めて申し合わせればいいのかかなと思ってです。</p>
南谷清司委員長	<p>わかりました。それではすみませんが、ちょっと委員長の預かりにさせてもらえますか。どうするかちょっともうちょっと私自身も状況を調べてみたいと思いますので、委員長預かりでよろしくお願いします。</p> <p>他に何かご意見は、この検討事項及びスケジュールについてですがよろしいですか。</p>
佐藤委員	<p>政務活動費については、どのような検討でしょうか。</p>
南谷清司委員長	<p>出てきた意見の1つは金額の問題、多いとか少ないとかあるんですけど、もう1つは使途、使い道の問題ですね、いわゆる議員の資質向上に使うのか、議員の市政報告等を使うのか、その辺はどうなんだという、そういうところ、です。</p>

他にはよろしいですか、何かありましたら。

(発言なし)

南谷清司委員長

それでは、これを先ほどいただいた意見に合わせてですね、④に全国各地の視察の対応、議員手帳を加えるということと、駐車場の駐車料については委員長預かりで、次までお待ちくださいという、そこが修正点ですが、よろしいですか。

(異議なし)

南谷清司委員長

それでは事務局さん、直していただいて次に配布をお願いをします。

次の協議事項は委員会活動の活性化についてということです。前回の委員会で、私の方から叩き台ということで案を出させてくださいということでご了解いただきまして、案をA4、1枚の案を作らせていただきました。A4、1枚ぐらにするのが量としていいんじゃないかと、市民が見るにしても、議員自身が見るにしても、あまり細かいとなかなか全体像を把握できないだろうということで、A4、1枚ぐらがいいのではないかなということです。

テーマも所管事項は何かと、各部と書いてありますが、実際全部書いた方がいいのかなという、全部書くと量が多くなりますけど、所管事項はやはり最初に書かないかなだろうと、その中で活動として重点テーマを何にするか、ここが一番のポイントになると思うんですが、それを1つ、2つ、3つと挙げておく、その隣に委員の名前を書く欄があります。常任委員会委員が全部で6人いるわけなんですけど、委員会活動の活性化というのはすなわち、各委員の活動の活性化ということですので、委員会の中で各委員がどういう思いを持って、どうやって活動するのかということについてももう少し意識をしっかりとっていただいて、この活動計画にそれを反映させていくと、各委員の取り組みも反映させていくと、それが活動の活性化の本質ではないかなということで、それぞれ重点テーマの担当する委員ということで挙げたらどうかなということで書いてあります。

その次が調査方法、スケジュールで、一般的なことは4つ並べましたけれど、それ以外にもいろんな委員会によっていろんなことがありうると思いますが、それはそれで考

えていただいて。

最後、報告になります。活動計画を最初に公表するのは当然として、終わった後に全体のまとめをまた公表するのも当然と思いますが、最後に各委員が1年間か2年間かわかりませんが、活動してきた所感というのを自分自身にとっての成果という形になるのが良いかと思うんですが、それを発表していただいた方が、実際の活動の活性化につながるのではないかと、そういったところを作らないと、結局はペーパーだけになってしまって、もっと最悪の場合は事務局が作文しただけということになってしまっただけは、いかにも表面的ですので、そんな形を今入れさせてもらっています。それで、これもご意見をいただいて、最終的にはこれも議運で揉んでいただいて決定していただくことになるかと思いますが、私達特別委員会として案と考え方を提出して、皆さんにお諮りをするということになると思いますので、ご審議をお願いします。何か意見がありましたら。

花村委員

この委員会活動の活動計画について、去年の議会改革からテーマになっとるんだけど、それと同時並行的に委員の任期を2年した方がいいという、前の議会改革の提言がありました。それで、2年にして、計画も立ててしっかりやろうというお話しだったんですが、ちょっと2年になるかどうかというか、委員会を任期を2年にするという関係が、言っちゃ悪いけど棚上げになっとるというような感覚を持っておって、できれば2年にして、そして活動計画を練りたいという思いであります。

南谷清司委員長

常任委員会の委員の任期を2年にするという話が、昨年度の議会改革特別委員会に出てきまして、その案が議運に投げられて、議運で任期末なので、新しく選挙が終わった後の新しい議員で考えましょと、新しい議会運営委員会で考えるということになって、現在の議運で審議をいただいて、それでまた全協で出てくるんだという、そういう流れになっています。議運での検討状況はどうか私はちょっと把握はしていないんですが、前回、2年でも1年でも活動計画はあった方がいいんじゃないかという意見もあって、このような案がこの机の上にあるわけなんですけど、2年になったときにこれを表に出すのか、1年でも2年でも表に出すのかというところは結構重要な問題ではあるんですが、それにしても出すのは多分今年度末というか、12

花村委員	<p>月とか、そこらにはなると思うんですけど、そのあたりはどうですか、1年でも2年でも、あるいは2年の場合だけにするかというところですが。</p> <p>今年度について言えば、これからヨーイドンでそれぞれの委員会で重点テーマ何にしましょうかとか、そして調査研究とやっていくとなると、ちょっと結果を出すまでに今年度は厳しいかなと思うし、1年間というのはやはりちょっと厳しくて、やはり2年間の委員会の任期を定めて、計画を立ててやっていきたいという思いがあります。</p>
南谷清司委員長	<p>おっしゃる通りで、年度内にこれを実施するという事は、これはなかなか難しいので避けた方が多分いいと思うんですね、だから新年度あたりなんですけど、2年になるか1年になるかも今年度中にはおそらく結論が何らかの形が見えてくるんじゃないかなと思いますので、最終的にはそれとあわせて、どうするかということをもたまたま新たに議会改革、議会運営委員会で決めるということにはなると思うんですけど、それはそれとして、急には決められませんので、2年を頭においても1年を頭においてもいいとして、全体のこの計画表についてはどんなご意見をお持ちでしょうか。特に各委員なり、委員の名前を挙げて、ある程度責任を持って活動計画なり、活動のリーダーシップを取っていただくと、そういうようなことが中に含まれているんですけど、この辺はどうですか。活性化を目指す場合にどう考えていくかという。</p>
安藤委員	<p>この委員長案に対して、この前議員セミナーがあったんですけど、まさにこのお話、ズバリのようなことを先生もおっしゃってみえて、ちょっとスタイルは違うんですけど、市外の方とか市内の方問わず参加していただいて、テーマに沿って改革を進めていくということを先生もおっしゃってみえましたので、この進め方で委員として私達がリーダーシップというか、その進め方をしていくのは、私はいいと思います。</p>
佐藤委員	<p>委員はどのように方法で決めるのかということ伺いたいです。</p>
南谷清司委員長	<p>このテーマごとの委員ということですか。特にそこまでは考えていませんが、基本的には委員会で何をテーマにし</p>

ようかと話し合おうと思うんですね。話し合うときに、私はこれをやった方がいいと思う。私はこれをテーマにした方がいいという話が出てくるはず。というか出てこなきゃいけないんですね、そこから自動的に言った人が担当になっていくという、そういうのが基本的な流れなんだろうと、委員会ごとにお決めいただくという話です。あんまり枠をはめてしまうと大変ですので、まずは柔軟に委員会ごとでやれるようにまずはやっていただくという。

他に何かございますでしょうか。

(発言なし)

南谷清司委員長

それでは、ひとまずこういう考え方、理念なり方針なりを今度、箇条書きで文言に起こしてきますので、それをまた次回見ていただいて、一応スケジュール的に9月議会で検討、議運へと書いてありますけれど、もう少し後ろへずれ込んでいくということで検討を加えていきたいと思いません。

これはこれで終わらせていただきます。あと、③の中で、大学・学識権者との連携、連携先、運用方法というのは9月議会までにとっておったんですが、9月に委員会やりますので、そこで検討すればいいんですけど、皆さんどんなイメージですか。研修会で大学・学識経験者を呼ぶという、そういう基本的な話なんですか、どんなイメージでしょうか。

花村委員

今委員長言われたよりもちょっと進んでおって、可児市なんかだと思っただけど、こういった議会改革の場に大学の先生なんかに来てもらって、一緒に考えて、そういった学習経験者または大学と一緒に議会の改革をしていくというイメージを持っております。

南谷清司委員長

他の委員さんはいかがでしょう。何かイメージをお持ちですか。

佐藤委員

2点ほどありまして、大学・学識経験者に関しては、地元の先生を優先した方が、コスト的にはだいぶ移動の費用が安くなるんじゃないかということと、あともう1つが、大学・学識経験者に連携先を絞っているような印象がありまして、既存の学問で対応できるようなジャンルであればこれで全然大丈夫だと思うんですけど、新たな問題とか、

南谷清司委員長	<p>学問がまだできあがっていないような問題とかに関して話を聞かないといけないような場合、あるいは連携しないといけないような場合は、この大学・学識経験者というふう限定することで、逆にマイナスになるんじゃないかという懸念があるので、他もちょっと検討を入れた方がいいんじゃないか、連携先についてですね、そのことに関して意見を申し上げます。</p> <p>わかりました。今のご意見を踏まえて、次9月にまた議会改革委員会を開催しますので、そこでちょっと簡単なレジユメを作らせていただいて、それをもとに話し合っていきたいなと思います。</p> <p>④⑤は、これも何か資料がないとなかなか話し合いが進みませんので、私の方で簡単なレジユメをですね、メリットとかデメリットとか考え方とか、そんなレジユメを作って、用意をさせていただきたいと思います。</p> <p>そんなところで今日の委員会は終わろうかと思いますが、よろしいですか。</p> <p>(発言なし)</p>
南谷清司委員長	<p>それでは、次回の開催日程を調整したいと思います。</p>
花村委員	<p>20日まで3つ目の産業建設委員会の予算決算特別委員会も含めた質問の締め切りなので、そこまで忙しいので、21日以降でお願いしたいという気持ちがあります。</p>
南谷清司委員長	<p>それでは、25日の午前はいかがでしょう。</p> <p>(異議なし)</p>
南谷清司委員長	<p>それでは改めて開催については通知をさせていただきます。これで本日の議会改革特別委員会を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;"><b>【委員会終了＝午後2時08分】</b></p>